

公益社団法人岡山県柔道整復師会



広報用実績のまとめ

令和 3 年度

団体名	公益社団法人岡山県柔道整復師会 会長 山崎 邦生	記載者	三村真輝
所在地(市区町村名のみ)	岡山市北区		
活動目的	岡山県の青少年の健全育成を理念とし、柔道の基本である礼節の精神と正々堂々と試合する態度を養うと同時に、「投げの形(手技・腰技・足技)」の重要性を伝承し、岡山県少年柔道の進歩・発展、競技力向上および底辺の拡大を目的とする。		
団体の紹介	当会は整骨院・接骨院として多くの県民福祉に貢献している公益社団法人です。 また、公益社団法人日本柔道整復師会と連携し、日本の伝統医療である柔道整復学、柔道整復術の進歩発展とその医学的研究をなし、併せてその普及啓発に努め、医療保険制度達成への協力、柔道などのスポーツを通して県民の心身の健全な発達を図り、柔道整復師の資質向上、県民の医療・保健・福祉の円滑な運営と健全な発展に寄与することにより、県民福祉の増進に貢献すること目的として活動している。		
助成を受けての活動内容	<p>「岡山柔整杯」は、全国大会に通じる県内3大会の一つで毎年多くの児童の参加があります。少年柔道形競技会は、県内で本大会のみ開催しており、代表選手は毎年、全国大会で好成績を残しています。個人戦では、4年生の1位、5年生・6年生の1位・2位の5名を選抜し岡山県代表選手団として全国大会に挑みます。</p> <p>◎第29回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会岡山県予選会(個人戦) 県内小学生4年生、5年生、6年生を対象にトーナメント方式によりベスト4まで行い、以降、リーグ戦で順位を決定し全国出場者を選出した。</p> <p>◎第13回岡山県少年柔道形競技会 県内小学生4年生、5年生、6年生を対象に「投げの形」を演武、優勝チームは中国ブロック予選会に出場する。中国ブロック予選会で優勝すれば全国大会へ出場できる。(7月25日の中国ブロック予選会で優勝、全国大会へ出場が決定)</p>		
助成を受けての成果	<p>柔道大会を通じて、少年少女の健全なる心身を育成し、これからの日本を背負う人材に育ってくれることが当会の願いであります。</p> <p>コロナ禍で、感染防止対策を講じながらの大会でしたが、子供たちは2週間前からの体調チェック、当日の感染防止への協力も積極的に行っていただき、岡山県の青少年の質の高さを実感しました。岡山県柔道整復師連盟の今井会長からもお褒めをいただきました。こうした行いが、技術だけでなく心の成長に繋がっていると確信を得ることができました。今後も少年柔道を通して、県民医療、青少年の健全育成に貢献できるよう努力して参ります。</p>		
今後の活動の課題点	<p>年々、日本伝統武道としての柔道人口が減少してきており、如何に競技人口を増やしていくかが課題となっています。私たち柔道整復師の原点は柔道であり、そこから生まれた技術や精神を県民の医療の質の向上に繋げ、地域社会に貢献しなければならないと考えており、その為には如何に安定的に子供のころから柔道に親しみ、その楽しさや仲間との絆、健康的な体作り、武道的精神の育成をしていくかが課題となっています。</p> <p>そうした中で、こうした柔道大会を通して少年少女の柔道の普及発展に努め、健全育成を図っていかねばならないと考えています。当会は今後も柔道を通した少年柔道の普及発展を目指していきたいと思います。</p>		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	<p>http://www.okayama-jusei.or.jp/</p>		